

四季報

建築士事務所協会東北支部青年部活動 NEWS ～ 2008年度 前期号 ～

発行／(社)福島県建築士事務所協会東北支部青年部
所在地／〒960-8061 福島市五月町 4-25 福島県建設センター5階
TEL (024) 521-4033 FAX (024) 521-5087

平成 20 年度は、青年部設立以来 6 年間に渡り部会長を務めて頂きました(株)杜設計・鈴木宏幸 氏 から、新たに(有)大野建築設計事務所・河野忠 氏 を新部会長に迎え、年度とともに新たなスタートを切りました。内部体制も、これまでの政策・研修・情報の 3 つの委員会から、本年度は広報渉外委員会と総務研修委員会の 2 本柱とし、さらに複合的な企画の立案・実施ができる体制を整えました。現在の組織になり初めての「四季報」、まずは河野新部会長の挨拶からお届けいたします。

なぜ青年部？

東北支部青年部会長
河野 忠

本年度から東北支部青年部の部会長を仰せつかりました。本年度は「ビジョナリー・ヤンググループ」(基本理念をもち永続的に成長し続ける青年団体)をスローガンに活動をし、初代鈴木宏幸前部会長が築き上げた礎を汚すことなく発展させていきたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

東北支部青年部が発足したのが、平成 13 年 11 月のことでした。当時設立総会に当たり、建築設計に携わる正会員、またそれをサポートする準会員に同年代の人がたくさんいることに感動しました。事務所の違いはあれ、建築(設計)の職に喜びを感じ、またつまずきながら日々を生きている同年代の同士がこんなにいることを、心強く思ったことを記憶しております。

発足当時は会員の殆どが会の運営についても不慣れで、前部会長のご苦労は大変なものがあったと思います。手探りの状態の中で各委員会を主体に様々な事業を企画し、役員会においてはそれを徹底して議論・検討を行い、それが 3 時間を越えることもよくありました。

その結果本番の事業はスムーズに進み、内外から高い評価を頂いております。過年度の代表的な事業は、以下のようなものがありました。

平成 13 年度 福島市都市型住宅マスタープラン提案
平成 14 年度 古民家マップ作成
平成 15 年度 古民家マップ作成、会報発行、ホームページ作成準備
平成 16 年度 ユニバーサルデザイン公開フォーラム
平成 17 年度 「住まいとまちの安全」公開フォーラム
平成 18 年度 「景観からのまちづくり」公開勉強会
平成 19 年度 「古民家体験を通してサステナブル建築を考える」公開体験会

どれも自分達の勉強だけに留まらず、常に外部への情報発信を意識した内容となっております。

会員の皆さんが日頃の本業の多忙な中、青年部に時間を割いて出席されることは大変なことだと思いますが、積極的に参加して頂いております。それは「青年部には、何かがあるから」だと思います。それは、どんなに忙しい時でも会合に出席すると、情報・知識を得られるなど具体的な成果よりも

「みんなが頑張っているから、自分も頑張るぞ」と元気が湧くなど、精神面への効果が大きいからだと思います。その意識向上の意欲が、本業へフィードバックされていると言うことは事実です。

しかし現在は、正会員(建築設計本業事務所会員)の皆さんは発足以来殆ど変わらず、業界自体の新入所員も少なく、逆に規約の年齢満了による卒業などにより減少してきているのが現状です。せっかく会運営も成熟し、対外的にも認知されかけてきた時に非常に残念でなりません。

一般的に「社会的構造の変化」「法改正による建築不況」など様々言われておりますが、我々青年が黙ってそこに身をゆだねている訳には行きません。建築設計業界の次代を担う気概を持ち、広く連携し、研鑽し、交流し合い、明るい展望がある福島県の建築設計業界であるように、発足以来の我々の夢でもある「全県組織化」が、本部のご協力を得ながら本年度から徐々に進められつつあります。皆様のご理解・ご協力を頂きますように宜しくお願い致します

「建築設計業界の青年がもっと元気で、誇りを持って職能を発揮し、積極的に地域で暮らす。」
それが、これからの設計業界にとって重要なことだと思いますし、私達のビジョンです。

— 青年部 これまでの活動 —

5月23日 「第7回青年部通常総会」開催

平成 20 年度 第 7 回青年部通常総会が、コラッセふくしまにて行われました。(社)福島県建築士事務所協会会長 田畑光三様をはじめとした来賓の方々に見守られる中、今年度の活動についての議案が全て無事承認されました。



6月26日 第1回例会「技術研修会」開催

ウィズ・もとまの会議室にて、(有)大野建築設計事務所 河野氏による「G邸新築工事」他作品発表、田村建材株式会社 松本氏による「アロン QD 防錆コートについて」等の製品紹介と工法についてのお話を頂きました。



8月22日 「三春例会事前勉強会」開催

9月三春例会の事前勉強会として、NPO 法人循環型社会推進センター副理事長 坂本照次様からは「建築(の)と心」、(社)福島県建築士事務所協会専務理事 渡辺光司様からは「福島県の公共建築を支えてきたもの」をご講演頂きました。三春のまちづくりについて、またそれに携わる建築士のあり方など、経験に基づいた貴重なお話でした。



9月6日 第2回例会「福島県内におけるまちづくり事例研究会」開催

青年部初となる移動例会が、三春交流館「まほら」にて行われました。詳しくは裏面特集ページにて掲載しております。

— 青年部 これからの活動 —

平成 20 年 10 月 第 3 回例会「技術研修会」 (株)田畑建築設計事務所、菅野建設(株)、(有)テレサ
平成 20 年 11 月 第 4 回例会「視察研修会」 横須賀方面を予定
平成 21 年 2 月 第 5 回例会

— 新青年部委員会の主な活動計画 —

広報渉外委員会

委員長:おの建築設計事務所
小野紀章

- ・市民、他団体との意見交換、交流を通して業界のイメージアップの促進
- ・行政機関との意見交換を通して、建築士の地位向上を考える
- ・会員拡大を目的とした移動例会の実施
- ・地産地消とサステナブル建築の研究

総務研修委員会

委員長:(株)明石設計事務所
明石茂樹

- ・建築技術(材料・工法)の研修会の実施
- ・若手協会員としての意識向上のためのセミナーの実施
- ・著名な建築の視察会の実施
- ・会員相互の親睦会の実施

はじめての移動例会

特集 = 福島県内におけるまちづくり事例研究会 =



懇親会

現地見学終了後、ホテル八文字屋にて懇親会が行われました。各支部の方々や地元三春町の皆様にもご参加頂き、多岐に渡る話で交流を深めることができました。
また、青年部のこれまでの活動をまとめた映像も上映され、青年部活動に対する理解も深めて頂けたのではないかと思います。

現地見学 その1

三春の里 田園生活館 見学

マチとムラとの有機的交流がテーマ。三春町の基本姿勢を垣間見ることができる施設です。古い民家を改修した休憩所でほっとひと息。これからの現地見学及び例会へ向けて英気を養いました。



桜中学校・中郷学校 見学



桜中学校 設計：香山寿夫 氏



中郷学校 設計：鈴木旬 氏

コーポラティブハウス桜ヶ丘 見学

北下がりの斜面地の利用が特徴的。地元住宅研究会などがコーディネーターの役割を果たし、住宅地としてのまとまりが生まれました。

駅南部コーポラティブ住宅地区 見学

借地方式システムや、歩行者主体の区画街路整備を取り入れた街区土地利用など、特徴的な取り組みが行われた住宅地区。オープンスペースを設け住宅地環境の質を高めるなど、開放的なゆとりある町並みがありました。



例会「福島県内におけるまちづくり事例研究会」～三春のまちづくり研究と相互交流～
「まほら」に到着。いよいよ、県北支部青年部初となる移動例会の始まりです。



まず河野部会長より、今回の移動例会に至った経緯、三春町を選んだ理由、例会の目的、県北支部青年部の役割、活動内容等の紹介などの発表が行われました。

続いて、三春町建設課課長 影山常光 様よりご挨拶を頂き、三春町の概要、町の取り組みなどについてもお話を頂きました。

そしていよいよ講演に移ります。

まず講演1として、福島県土木部建築指導課課長 野内忠宏 様より

「地域住宅計画」＝「HOPE 計画」によって生み

出された町について、事前に見学した駅南部コーポラティブ住宅地区等の事例を基に詳しくご説明頂きました。

「将来の姿を見定めて、まちづくりの良いコンセプトと良い理念を持つこと。これに該当するのが地域住宅計画の内容かと思えます。」という言葉が印象的でした。

「まほら」到着！



続いて講演2では、三春町建設課都市グループ長 宮本久功様より、三春中心市街地の整備、店舗併用住宅の整備計画、裏道整備事業等についてのお話を頂きました。また桜川周辺の事業にも触れ、「皆さんに気持ち良くご覧になって頂けるような桜川沿いの裏通りをつくっていききたい」とのことでした。



現地見学 その2

三春中心市街地 見学

2班に分かれ、街中整備事業・お祭り道路・裏道整備などを見学。写真に見られる様に電線が無く、空に開放感がありました。



お祭り道路：祭りやイベントに対応できるフレキシブルな構成になっています。

